

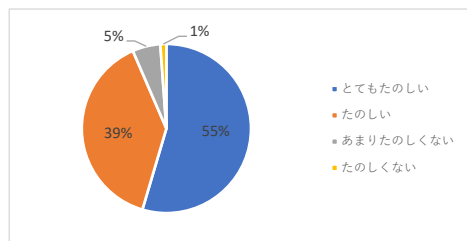
令和7年度前期 児童アンケート（学校生活アンケート）の結果

白井市立南山小学校

○アンケート実施月 令和7年10月

1 学校は楽しいですか。

	%
とてもたのしい	55%
たのしい	39%
あまりたのしくない	5%
たのしくない	1%

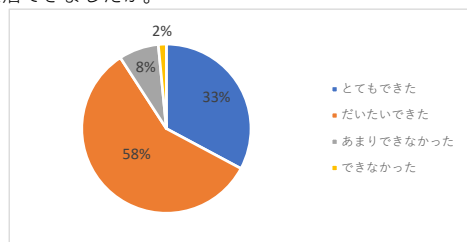


肯定的回答が94%と、どの学級の雰囲気も落ち着いており、児童が全体的に学習や行事に意欲的に取り組んでいるからこそ考えております。

しかし、否定的に捉えている回答もありますので、児童の様子をさめ細かく見ながら、教職員間の情報共有、そして関係機関とも連携し、教育活動を推進してまいります。

2 学年・学級目標を頭に入れて生活できましたか。

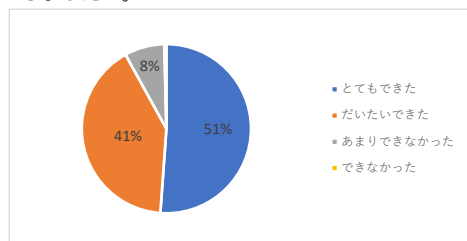
	%
とてもできた	33%
だいたいできた	58%
あまりできなかった	8%
できなかった	2%



各目標を意識して生活している児童が約91%おり、昨年度より4ポイント上昇しました。学年・学級目標が、具体的に児童の意欲をかき立てる内容になっていることと、保護者の皆様が活動方針をご理解の上、ご家庭でサポートをしてくださっているためと捉えております。今後も引き続き支え合いながら日常生活を送ることができるよう支援してまいります。

3 すすんで授業に取り組むことができましたか。

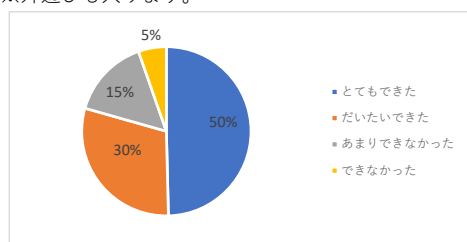
	%
とてもできた	51%
だいたいできた	41%
あまりできなかった	8%
できなかった	0%



進んで授業に取り組んでいると感じている児童が約92%と高い値を示しております。協働による課題解決型学習を取り入れ、友達同士での学びの深まりにより、内発的動機が向上しているものと捉えております。一方、「あまりできなかった」と回答した児童がおりますので、学校全体で、個に応じた声かけを行い、学ぶ楽しさを実感できるように授業改善に今後も取り組んでまいります。

4 すすんで運動ができましたか。※外遊びも入ります。

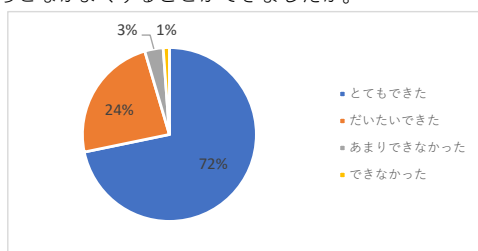
	%
とてもできた	50%
だいたいできた	30%
あまりできなかった	15%
できなかった	5%



80%の児童が肯定的な回答をしております。多くの児童は、「できた」「がんばった」と達成感を味わえる体育科の授業を楽しみにしております。一方「あまりできなかった」「できなかった」と回答する児童が20%おりますので、体育科以外の休み時間での外遊びの推奨やたわわり活動を活用できるように支援していきます。

5 思いやりの気持ちをもって友だちとなかよくすることができましたか。

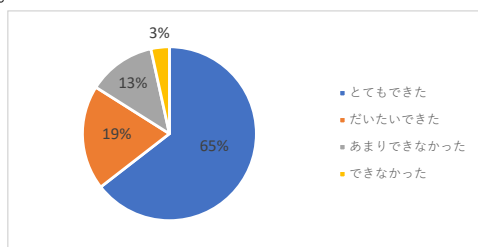
	%
とてもできた	72%
だいたいできた	24%
あまりできなかった	3%
できなかった	1%



肯定的な回答が児童の96%を超えております。上級生が下級生に優しい気持ちで接することができ、全体の良いお手本になっております。これが、たてわり活動でも生かされていると考えます。否定的な回答をしている児童もおりますので、日常生活で注意深く見守り、道徳科の授業を生かしながら、豊かな心を育てよう努めてまいります。

6 三つ星あいさつができましたか。

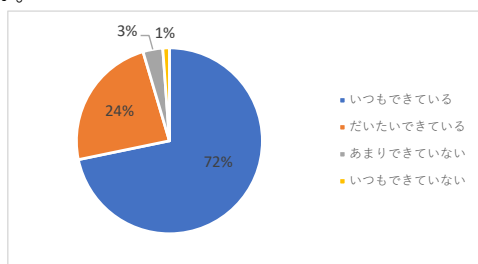
	%
とてもできた	65%
だいたいできた	19%
あまりできなかった	13%
できなかった	3%



約84%の児童が肯定的な回答をしております。昨年度より「とてもできた」という回答が14ポイント上昇しました。今年度も高学年が中心となり、学校全体で、誰にでも気持ちの良い挨拶ができるように活動を進めております。「もっと良いあいさつができる」という向上心を大切に、登下校時、来校者への挨拶も自信をもってできるよう指導を継続します。

7 くつのかかとをそろえていますか。

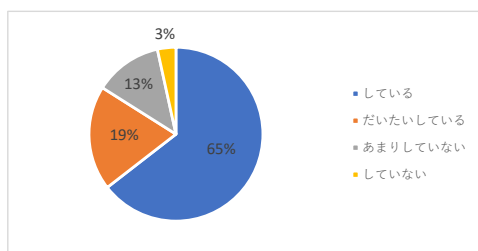
	%
いつもできている	72%
だいたいできている	24%
あまりできていない	3%
いつもできていない	1%



95%以上の児童が肯定的な回答をしており、高い値を示しております。教員が促すのではなく、上級生が手本を示すとともに、委員会でも積極的に活動していくことで、ほとんどの児童が習慣化していると捉えております。児童が自発的に行えることを評価することで、自信を持ち、さらなる高みを目指す集団となるよう支援してまいります。

8 家で勉強をしていますか。

	%
している	65%
だいたいしている	19%
あまりしていない	13%
していない	3%



肯定的な回答は84%を超えております。本校では、自分で課題を見つけ、考えたり深めたりする「自学」を推奨しています。今後も、自ら学び続ける児童の育成を目指し、発達段階に応じて指導・支援を行い、自分の興味・関心に合わせて調べたり、十分でない学習を補ったりすることができるよう支援してまいります。

9 自分で、もっと勉強してみたいと思う教科や学習はどれですか。

全体の25%の児童が体育科、20%が算数科をもっと勉強してみたいと回答しました。その後に図画工作科、社会科が続きました。

本校は、昨年度より2年間、白井市から学力向上研究校の指定を受けており、特に算数科の授業科において、協働の場を多く設け、児童の主体的な学びにつなげられるように研究しております。その取り組みが、今回の回答にも表れたと捉えております。

また、算数科だけでなく、国語科、生活科等の他教科も協働的な学びを取り入れております。その取り組みが今後の児童の学習意欲につながるよう引き続き指導してまいります。